



Rotary  **新千葉ロータリークラブ会報**

創立 昭和 41 年 4 月 20 日 承認 昭和 41 年 6 月 6 日

会長 飯高 健 幹事 渡邊 圭介



例会日…水曜日 12:30~13:30

例会場…京成ホテルミラマーレ 千葉市中央区本千葉町 15-1

TEL043-222-2111

FAX043-224-8477

2020 年 9 月 9 日発行

第 2599 回例会報告 (2020 年 9 月 2 日)

○国歌斉唱 君が代	○ロータリーソング 奉仕の理想
○四つのテスト 中野 龍介	
○お客様 千葉ロータリークラブ 梶原 等 小川 智之	



**○会長挨拶** 会長 飯高 健 本日は例会内容を変更して、千葉ロータリークラブ梶原ガバナーエレクトにお話を伺います。内容はガバナー補佐選出についてです。各テーブルに、ガバナーとガバナーエレクトからの通知が置いてありますので、それに則ってお話いただけるということです。元々第3グループには輪番制というものがあったようで、それが、私が幹事の時に無くなるというお話がありました。その時に、千葉クラブの中で、「ガバナー補佐に藤澤さんを立てるということが内々に決まっているので、輪番制が無くなる、無くならないではなく、千葉クラブの順番だから千葉クラブにやらせてくれ」という話が合同幹事会の中であり、その時は円満にまとまりました。次は新千葉、その次は西クラブという順番がある中でのことでした。今回梶原ガバナーエレクトには違う改革案があるようで、今日理事会でも話が出ましたが、千葉クラブは第3グループの中で順番でいうと1番、新千葉が2番、西が3番…となっていますが、1番のところだけやらせてくれと、2番からはルールが変わったから関係ないだろうという話も出ているようですが、変わったとしても1番から7番までは立てて、そこから筋を通して、ガバナー補佐を選択していくというのであればまだ納得できますが、いきなりこのような形でやるのは筋が通らないのかと思います。そんな中、本日梶原ガバナーエレクトがご説明くださるということですので、私の話はここまでにします。

**○ガバナーエレクト説明** ガバナーエレクト 梶原 等

皆さんこんにちは。今年度ガバナーエレクトを拝命しております梶原です。新千葉ロータリークラブの皆さんには、同じ第3グループでお世話になっております。今、飯高会長からお話がありましたガバナー補佐の選出について皆さんにお話いたします。

国際ロータリーは 2000-01 年度の理事会決定により、地区リーダーシッププラン、DLP を採用しています。DLP は国際ロータリーの指示に基づくもので、当 2790 地区も 2002 年 DLP を採用しました。当然ガバナー補佐の要件もこの DLP に当てはまる必要があります。しかしながら、ガバナー補佐の選出については、従来の分区代理の選出方法がそのまま踏襲されております。本来のガバナー補佐に求められる委嘱内容を十分に理解されないままガバナー補佐に選出される方が多くみられ、その選出方法は分区代理の時代と同じ分区内のクラブ輪番制で、尚且つ、クラブの重鎮がその役を引き受ける例がほとんどです。その結果、ガバナーから発せられる各クラブへの通達事項、依頼事項も十分伝わらず、また翌年度のガバナー補佐との連携もとられない状況でしたから、地区内のクラブも活性化のスピードも遅く、逆に弱体化してきた感も否めません。時代背景もありますが、会員数を見ても、1997 年 4337 名の会員数が、2019 年には 2824 名と 35%も減少している現実があります。さらにクラブ数も 2000 年には 85、ピーク時は 86 ありました。これが現在は 82 まで落ち込んでいます。もちろんこれが全てガバナー補佐のせいとは言えません。しかし、ガバナーが発信することや、RI の通達事項等正確に伝達し、それをクラブ毎にバックアップすることがガバナー補佐には求められる訳です。しかし、選出されたガバナー補佐の方の中には、MYROTARY の登録もされていない、通信手段の一つである Email の操作にも支障がある、連絡手段にも障壁があります。実情はガバナーや RI からの通達連絡が正しく伝えられていない等、クラブ



のバックアップ等に力が及びきれない現実があります。そのような地区の状況をここ5～6年携わってき  
て気づいたことは、当2790地区に具体的なDLPが作られていないことに気が付きました。第1にガバナー  
補佐の強化が必須だと思い、少なくともガバナー補佐の選出については、過去からの慣例になっている輪番制  
を外し、上りの役職としてクラブの重鎮が推薦されるようなことは避けなくてはならない。したがってDLP  
に基づいて新たな検討をし直した結果、「ガバナーエレクトがガバナー年度のガバナー補佐はDLPの基本原則  
に則り、ガバナーエレクトが選考するというご案内をいたしました。これは今年の2月の地区大会のことです。具体的には自ら候補者を立て、推薦していくという方法です。このことは2019-20  
年度の諸岡年度、2020-21年度度漆原年度に開催されたガバナー補佐会議でも、ガバナー補佐の皆様にも何  
度もお伝えしていることであります。現実には、これらのことを前々年度、前年度、今年度のガバナー補佐の方  
々が正しく各クラブに伝達されたグループが少ないため、グループによっては輪番で決まっている方も候補と  
して挙げる準備があるというグループのことも考慮し、改めて全てのグループの各クラブ宛に、「ガバナー補佐  
はガバナーエレクトが選考しますが、2021-22年度のガバナー補佐の推薦のあるクラブは推薦をいただき、他  
の候補者と再考させていただく」ことを通知申し上げます。但しその際、「推薦をいただいても選考されな  
いこともご承知おき下さい」とのことも付け加えさせていただきました。ただ、推薦クラブ側からすれば、せ  
っかく推薦したのに選挙されない場合には、なんのために推薦があったのか、その意味が理解されないままとな  
ってしまいます。推薦された候補者のデータは、その推薦書を地区事務所にてしっかりと保管し、次々年度以  
降の有力なガバナー補佐の候補者として、私に続くガバナーノミニー、これから選考されるガバナーノミニー  
デグジネートにしっかりと引き継いでまいりたいと考えております。更にはその候補者が優れている方であ  
れば、そのように助言をしてまいる所存でございます。以上、このような経緯でガバナー補佐の選考方法が変  
わったことをお伝え申し上げます。

また、地区では現在同時にグループの再編についても進めており、2021-22年度私がガバナーに就任させ  
ていただく年度からは、現在の14のグループを10のグループにまとめ、ガバナー補佐の人数を少なくする  
と共に、ガバナー補佐による具体的なミッションを具現化していただく改革を行っております。今後も2790  
地区のDLPを効果的なものとして作り上げて、よりよい地区となるよう改革を進めてまいる所存ございま  
す。どうぞ皆様のご意見等もお聞かせいただきながら、今後の地区運営にご理解とご協力をいただきたくお  
願い申し上げます。

第3グループは先ほど飯高会長がお話されたように、私は今千葉ロータリークラブに所属しておりますので、  
私の千葉ロータリークラブから藤澤武彦氏がガバナー補佐として今年度務めさせていただいております。確か  
に、一昨年度の合同幹事会の席で飯高会長がおっしゃったことは事実であるんじゃないかと思っておりますし、  
そのような報告も聞いております。それはそれとして、私はガバナーエレクトでございます。来年はガバナー  
を拝命いたします。ガバナーというのは国際ロータリーから任命されるロータリーの役員の一です。全ての  
地区内のグループに対して公平に使わなければならないのが私の役目であります。もちろんそれはクラブの推  
薦を受け、この役職に就くわけですけれども、ガバナーを務めることとクラブのこととは別に考えていか  
ないといけないということで、私は地区全体のことを今説明したようなことを鑑みながらガバナー補佐の推薦制度、  
まずこれに手を付けていきたいと、これは今年の2月の昨年度の地区大会でしっかり提言させていただきました。  
この提言をさせていただくにあたって、当然地区の諮問委員会、諮問委員会というのは地区のバスター  
ガバナーで構成される委員会でございますけれども、いきなり私がそれを言い出すと多分大騒ぎになると思  
いますので、諮問委員会でも今言ったようなお話をさせていただき、「ガバナー補佐についてはガバナーエ  
レクトが自ら選考させていただきたいという旨をしっかりと会員の皆様にも通知申し上げます」という話を  
させていただきました。それについては特に異論もなく、しっかり進めていけばいいと言われてまして、地区  
大会でそういう話をさせていただきました。

今回第3グループからは、新千葉ロータリークラブさんから星会員がガバナー補佐として推薦書を  
いただきました。それは、私が通知申し上げた文書に基づいて提出されたものだと思っております。私は青年  
会議所も通じて星会員のことはよく存じ上げておりますし、星さんの力ということも十分理解を  
しています。

同時に、現在この地区ではグループ再編の問題がございます。「幸いにして」と言うとお隣の現第4  
グループの方から異常な猛反発を受けていますので、あまりそこは過激には言いませんけれど、第3  
グループは来年度千葉港ロータリークラブさんがこのグループに加わる予定です。そうなります。その  
ように進めるということも、7月14日にクラブに一斉配信をしております。第4グループについては、  
現在千葉南ロータリークラブ、千葉北ロータリークラブ、港クラブ、緑クラブ、そして市原中央、  
市原クラブ等々の6クラブがございまして、市原のエリア、港さんはこの第3グループ、そ  
して千葉南さん、千葉北さん、緑さんは、習志野・八千代・佐倉・四街道の今の12  
グループと一緒にすることになっております。これに関して第4グループの皆様からは、  
大変な批判をいただいているのも事実でございます。このことに関しましては、私が  
というよりは、今年度の漆原ガバナーが今正面から批判を受けているところ  
です。グループの再編については、昨年度諸岡ガ

バナーが設けました地区の戦略委員会の小委員会で設けられたグループ再編会議、もう一つはリーダー育成委員会がありますけれども、グループ再編会議の中でパストガバナーの青木さんがリーダーとなり、木更津の堀口さん、私ども千葉クラブの並木さん、佐原クラブの川原さん、松戸クラブの森田さんが委員となり、そして市原クラブの白鳥パストガバナーが顧問となって、グループの再編を1年間かけて進めてきました。そして、6月の下旬の地区戦略委員会でこの再編問題が最終的に可決され、皆さんにご案内申し上げた10のグループで来年度から実行していくということが決定したわけです。この決定事項は7月4日に開催されました地区諮問委員会で答申し、そのまま進めるということで、7月10日行われた緊急ガバナー補佐会議でこのことをお話し、来年度、実際には私の年度からこの10グループに分けてのグループ再編を実行するという話をさせていただきました。そして、クラブにご案内申し上げた訳です。現在そういう訳で、第4グループは非常に大混乱をされている現実があります。場合によると第4グループと現第3グループ、もう少しグループピングとかクラブの割り振りを、場合によったら見直さなければいけない、もしくは、大きくいじっていかなければいけないかもしれないということもまだまだ含んでおり、この問題は解決に至っておりません。

そういう難しいこの第3グループ、第4グループを抱える旧第3分区、ここをまとめるガバナー補佐として、もちろん星さんでも十分お努めいただけると思います。しかし、地区の内情を十分に理解されている、地区のことに精通している方でないと、クラブからの反応、あるいはまたいろんな課された課題等について、しっかりとサポート、回答、あるいはそれに対する対策、対策に対する実行、こういうことができていかないのかなという風に私は思っております。いろいろ考えました。当然第3グループも輪番制である、全てのグループが今まで輪番制でやっております。そういう中で私が苦渋の決断をしなければいけなかった。確かに会長がおっしゃったように、私は千葉クラブの所属ですから、「千葉がガバナー補佐の枠を取っておいて何で次に渡さないんだ」と言われることも当然承知で今の行動を取らせていただいております。

ただ、今後グループの再編と同時に、実は地区のDLPいわゆる地区リーダーシッププランというものも確立をしていかなければいけません。現在は来年度の地区の組織図をまとめると共に、地区リーダーシッププランというのもまだ叩き台ですけども、今一生懸命作っているところでございます。この中には、現在ありますガバナーノミニーの推薦も含め、ガバナー補佐の推薦の制度、こういったこともきちんとリーダーシッププランの中に取りまとめて、適任の方がガバナー補佐としてグループの職をしていただける体制をしっかりと作っていきたいという風に考えております。地区の組織図についても同様で、その辺の戦略をきちんと練る部分というのも、今しっかりと作っていきこうということで、検討、まとめているところでございます。そういったことで、第3グループに関しては、非常にグループ内、特に隣の第4グループの関係もあって、難しいグループでありますので、ここは地区の幹事長を経験した幕張ロータリークラブの始平堂さん、今年度はクラブ幹事をされていますけれども、始平堂さんをお願いしたいというのが率直なところでございます。私は2015-16年度我々クラブから櫻木英一郎がガバナーの時に地区幹事長をさせていただきました。実際に地区幹事長を務めるにあたって、前年度1年間は当時ガバナーの宇佐見さん、当時の幹事長の始平堂さんからいろいろな指導、協力もいただき、一緒に仕事をさせていただいた仲でございます。始平堂さんから学ぶものはたくさんありましたので、是非そういう方に窮地の旧第3分区を救っていただきたい、その協力をいただきたいということで、私は第3グループにつきましては幕張ロータリークラブの始平堂会員を指名させていただいたところでございます。ということもご理解いただきながら、納得はいただけないとは思いますが、そういった経緯の中ガバナー補佐の推薦をさせていただいております。

先ほどの説明文の中にもございましたように、ガバナー補佐の推薦書につきましては、地区事務所でしっかりと保管をさせていただき、来年度私の後に続く小倉ガバナーノミニー、そして、おそらく今月中に正式に決まるであろうガバナーノミニーデグジネートにもきちんとお伝えし、新千葉ロータリークラブさんではしっかりバックアップの体制もあるので、私の時には選考できなかったけれども星さんという方がいるので、是非この方も候補の一人としてお考えいただきたいと、私はしっかりと伝えていきたいと思っております。そういうことをお含みいただき、ご理解をいただきたいと思っております。私の説明は以上です。

## ○質疑応答

**長谷川会員：**まず、今回新千葉と幕張の他に千葉クラブでもガバナー補佐の推薦を出したと聞いている。千葉クラブでは今年もやらせてくれと言ってやっておいて、更にまた推薦を出して次もやらせろと言うつもりか。大きなクラブは、何度も何度もやれるという考えなのか。

新千葉ロータリークラブでは、次が順番ということもあり、随分前からクラブ内で調整し、理事会、クラブ協議会を経てクラブの総意として星会員を推薦している。次は西でも準備をしているはずである。最初から幕張の始平堂さんに決めていたというのであれば、少なくとも昨日幕張クラブを訪問する前に、新千葉に来るのが筋ではないか。



**梶原 GE**：幕張だの西だのということではなく、推薦、後援をするのはクラブかもしれないが、ガバナー補佐はあくまでも個人である。千葉幕張ロータリークラブに所属している始平堂会員に私は推薦をした。グループの輪番制というのは百も承知だし、全てのグループがそうしているので、前もって新千葉ロータリークラブにご挨拶なりをできなかったのは私の不徳の致すところである。大変申し訳ないと思っている。

**江澤会員**：ガバナーエレクトがガバナー補佐を勝手に決められるというのはいつ決まったのか？DLP で決まっているというなら DLP がおかしいのではないか。

**梶原 GE**：ガバナーエレクトがガバナー補佐を選考するというのは、RI の章典に載っていて、DLP でそういうシステムになっている。これを直すということになると、規定審議会にクラブから条文を出していただかなければならない。それが国際ロータリーの規定審議会で採択されたのであれば、そのようになる。DLP で決まっていることをまずは進めているということ。

新千葉ロータリークラブを飛ばして幕張ロータリークラブということではなく、たまたま私が推薦をしたいガバナー補佐が千葉幕張ロータリークラブにいたということだけの話。順番を崩したという事実は変わらないが、旧第3 分区の難局は始平堂会員でなければ乗り越えるのは非常に難しいという判断をした。始平堂会員については、私の先輩として地区幹事長を経験されていて、地区全体のことにに関して十分に精通している。また、大きいクラブから順番に関係なくどんどん出てもいいのかということだが、適任であればむしろそれでもいいと思う。だから千葉クラブからどんどん出すということではないが、千葉ロータリークラブもこういう候補者がいるということをし、しっかり地区に示していくということは私の所属のクラブでとった結論であるので、別に次から次へとどんどん出していくということではない。また新千葉ロータリークラブも複数の推薦をいただくことも構わない。そのように理解いただいているガバナー補佐も他のグループにはいる。今回は、私の説明、配慮が足りずこの第3グループだけでなく他のグループにも混乱をさせてしまっていることは申し訳なく思うが、地区を改革していかなければならない、2790 地区が関東地区において財団の寄付が最下位になるような低迷した地区ではなく、もう少し上の順位につけるようなしっかりした地区に変えていかなければならないということを、今年度の漆原ガバナー、私、次年度の小倉ノミニーと続いてやっていきたいと考えているので、ご理解いただけないかと思うがそういうつもりでやっていきたい。

**斎藤会員**：今回のことはやはりあなたのやり方がまずいと思う。ルール、ルールと言っているが、慣習というのも一つのルールで、それを一人の人間の考えで一方的にグループの人間に押し付けるのは普通考えられないことである。何事も手続きをきちんと踏んで、皆で議論して、了解を得た上でこれまでの在り方を変える、これが適正手続きの保障という。適正手続きを無視して、一人の人間がよかれと思っているからそのようにすると言うので、会員が納得するか？納得しているのであれば、誰も文句は言わない。私はロータリー歴は浅いが、その私でさえこれは通用しない考えだと思う。もう一度持ち帰って、考えたらいかかか。

**森部会員**：いろいろな流れがあるかと思うが、今日は決定したという言いきりなのか？新千葉の思いをもう一度考えるという気持ちなのか？

**梶原 GE**：はっきり申し上げるが、当初から第3グループについては、千葉幕張に所属している始平堂会員、私の直前の地区幹事長の先輩について、今の難局の第3グループ、旧第3 分区をお願いしたいという気持ちは変わらない。含み置きいただきたい。これは地区のDLP で決まっている。DLP を直す、直さないはクラブ、我々地区だけでは決めることができないので、DLP は国際ロータリーで定めている規約なので、それに基づいて進めさせていただいている。前の会員のおっしゃった手続きがなっていないというのは確におっしゃる通り。それは地区にしっかりとしたDLP が現実問題文書として無い、それが一番の大きなネックだったと思う。それも含めて今作成しているところであるので、このDLP の叩き台ができれば、ガバナー補佐を通じて各クラブの皆さんに諮った上でいい形を進めていければと思う。

**森部会員**：最初から決まっているなら、いちいち各クラブから推薦を挙げる必要はなかったのではないか。

**梶原 GE**：それも先ほど説明した通り、ガバナー補佐会議というものがあ、本年度の漆原ガバナーが何度も会議をやっているが、その中で14名のガバナー補佐のうち何名かから「うちのグループは輪番で決まっている。」だからどうのこうのと、そういう話がとにかくしつこく出ていたので、そういうところも鑑み、推薦を依頼する文書の中に、「まずはDLP に基づき私が指名をさせていただく。但し推薦がある場合には挙げてください。でも選考できないかもしれない。」という一文を添えている。尚且つ挙がってきた推薦書に関しては、しっ

かり後任につないでいくということも付け加えさせていただく。

**中野会員：**素朴な疑問だが、次の方を指名していくことになっているということで、特定のクラブだけで回していったり、特定の人脈だけで固まってしまうと利権化してしまい、選任されなくなるクラブが弱体化するような組織構造になってしまうのではないかと感じる。権力構造の固定化という危険性というのはどのようにお考えか？

**梶原 GE：**それについては、今後の地区リーダーシッププランのガバナー補佐の推薦制度という項目の中でしっかり書き込んでいきたいと思っているが、ガバナーエレクト、ガバナーノミニーになる方が地区内の全ての会員のことを知っているわけではない。当然そこにはそのエリアを管轄するガバナー補佐がいるわけで、今までも輪番でやっていてよかったのかもしれないが、適任の方を推薦していただければ私もこういう行動は起こさなかったのかと思う。最終的に私の独断で決めたわけではなく、地区の戦略委員会でちゃんと話をしている結果からこういう形をとることになった。小さいクラブから出てこない、大きいクラブばかりということではない。ガバナー補佐の要件があり、その要件に合致する方であれば、積極的に勧めていただく。むしろそういう方達を発掘するのがガバナー補佐の役割である。それなのに今までが、はっきり言うが「MYROTRY も登録していない。そもそも開いたこともない。EMAIL なんて俺は操作できない。ガバナーの言うことはわかるけどどちらかそんなことやっていないからやらない。」そういうようなガバナー補佐が、全員とは言わないが何名か必ずその年度に出てくる。そうすると、国際ロータリーの規約がこうだからこう変えてください、ガバナーが方向性を考えるからクラブを指導してくださいと言っても、そんなこと何一つやっていない。「年に 4 回行けばいいんだろ」と最初の挨拶に 1 回、ガバナー補佐訪問で 1 回、ガバナー公式訪問で 1 回、最後期の終わりに 1 回来れば 4 回で済むでしょう。ガバナー補佐はそうじゃなく四半期に 1 回クラブを訪問してクラブの実情を見て、その中に地区に出てくださいようなクラブの候補者もいっぱいいるでしょうから、そういう人達を地区に推薦し、尚且つクラブを活性化させていくというのが本来のガバナー補佐の役割である。そういう役目をできていない人達ばかりだったから、全ての人がそうだとは言いませんが、そういう人達が多かったから、ここにはメスを入れなければいけないということで、昨年度から続く地区の戦略会議の中で議論し、あえて私が踏み切ったという経緯なので、今後選出されるガバナー補佐の方々は、クラブにどのような人材がいるのか、ガバナーの候補者がいるのか、地区の委員長になる候補者がいるのか、という情報をしっかり掴んで、それを地区の中に集めてそういう方々に地区に協力していただきながら地区を活性化していく、イコールそれはクラブの活性化にも繋がるという構図でやっていきたいと思っているので、大きなクラブだけが成長する、小さいクラブがないがしろになっていくということはないように、ガバナー補佐に指導していきたい。

**中野会員：**私が感じているのは、直近の問題解決よりも構造的な問題で、例えば安倍総理が辞める時に後継を指名すると民主制でなくなってしまう。そういうことが問題だと思う。選挙制度を導入する等、新しい形をとりながらやっていくとか。輪番制がある程度柔軟なところは、しがらみや利権のようなものが引き継がれにくいということに良さがあると思う。選挙制度のようなものを導入すれば利権化しない。ようするに、私は公平なロータリーが続くことを願っている。現在 32 歳だが、もう少し成長した時に仲間を誘いたいと思っているが、もしもそういうのが無くなった場合、そういうロータリーではなくなってしまうのではないかと心配がある。公平で開かれたロータリーというのを作るための制度をもう一考していただいた方がいいかと思う。今現在の議論は、今後の発展のためということで直近の問題はいいと思うが、今後利害等悪用できてしまうことになったら、もう戻せないということに、私が周りの人達を誘いにくい状況になるのが嫌だと思っている。そこが伝わり、今後の改善等に取り入れていただければ幸いである。

**森島会員：**個々のロータリークラブが国際ロータリーに加盟している以上、RI の定款その他の規則であるルールを守ること、従うことが大事なことだと認識し承知している。先ほど当クラブの斎藤会員が慣習もルールである（慣習法）とお話されました。私も同感です。団体、組織の運営には、明文化されたルールと慣習という二つのルールがあります。梶原さんが、明文化されたルールについてお話をされ、それは皆よくわかると思う。しかし、慣習というルールについては丁寧に対応いただいていないのではないのでしょうか。私どものクラブは、脈々と諸先輩から若い者を大切にさせていただいて、若い者を指導いただき、若者の不足についてはその補完していただいています。若い者は、その先輩方のお手伝いできればそれをさせていただくという、とてもいいクラブであります。尊敬できる先輩のことだからこそ、従うということが多々あります。人は明文化されたルールのみで動くのか、或いは、慣習を含めこの人がいうことならばという想いで動くのか、ということがありますが、新千葉 RC はここを大切にしているクラブです。

本例会の最初に飯高会長が話されたとおり、会長が幹事するとき、今後は明文化されたルールに則り、「ガバナー

の指名によりガバナー補佐が選出される」ということを新千葉クラブの幹事報告で説明がされており、そのことは皆承知してきました。

第3グループは千葉クラブを最初に設立順にすべての活動が一巡するという慣習があります。しかし、「ガバナーの指名によりガバナー補佐が選出される」ことを周知させた中で、千葉クラブはこれまでの慣習どおりにガバナー補佐を推薦したいということをグループ内の幹事会で報告し皆に了承をとりました。にもかかわらず、千葉クラブの所属でおられます梶原エレクトから事前のご説明等なく、次のクラブからその慣習は取り扱わない、という文書が通知されたこと等、その手続きは極めて乱暴ではないでしょうか。「ガバナーの指名によりガバナー補佐が選出される」という今後の手続きを推進しようとする状況の中で、千葉クラブさんが従来どおりの慣習を継続スタートさせたのだと思います。

斎藤会員がお話しましたように、慣習というルールに対して丁寧に正しい手続きを踏んでいただきたいということと、本件について持ち帰ってご検討いただきたいと思います。以上です。

**○幹事報告** ・2019-20年度出席率100%会員の表彰は後日 ・結婚記念日お祝い お名前のみ発表 斎藤会員、稲葉良一会員 ・誕生日お祝い 三木会員、森会員、辻会員、大原会員、斎藤会員、稲葉会員、吉田会員、初芝会員 後日クラブフォーラム3分間スピーチを行います。 ・理事会報告は後日

**江澤会員**：皆納得していないのではないかと？

**飯高会長**：今、江澤会員が言った通り、私も全然納得していません。梶原ガバナーエレクトにおかれましては、改革という意味ではどんどんいろいろ改革していけばいいと思いますが、やはり段取りが大事だと思います。その辺が飛んじゃってこういうことになっていると思います。本日皆さんからご意見をいただいた中で、皆さん同じような気持ちを持ってくださっていることがわかり、そのことが、私は新千葉ロータリークラブで良かったと思っています。今第3グループが難局だということで地区に精通している方を選びたいとのことですが、地区がそもそもグタグタなのは、地区に精通している人達がいるからで、外からの血を入れた方がよっぽど改革に近づけるのではないかと思います。結局お友達関係でやっている地区であれば、どこかで一度梶原ガバナーエレクトなりが線を引いてひっくり返すようなことをやらないといけないんじゃないかと思いました。今回納得できていないままですが、これから地区に対しての新千葉ロータリークラブの在り方等々も、皆さんと考えながら行動していければと思います。本日は長時間に渡りありがとうございました。

**中村会員** (on-line 視聴)：私は自由意志で仕事の合間に、奉仕活動を通じて自己啓発のためロータリークラブに入会しており、その単位が各クラブだと思っています。1995年入会以来、このクラブで得た多くの一生の友と経験により、自分の人生が深く充実したと考えています。また、自分のクラブに対して誇りを持っています。しかし、今日の話や聞く「梶原株式会社」の会社方針の説明会のようだと感じました。私達はあなたの社員ではありません。「四つのテスト」に照らしてもっと敬意を持つべきではないでしょうか。RIの通達事項が正確に伝わらないとすれば、ガバナー補佐ではなくガバナーの指導不足ではないでしょうか。櫻木PG、漆原G、梶原GEと、ガバナー補佐を経験しないでガバナーになった人が、これまでのガバナー補佐を批判するのは無礼だと思います。グループ再編については、「6月の地区戦略委員会で可決されたので10グループで行くことを決定した」ということですが、そもそも決定権限があるのですか？第4グループの方から異常な猛反発を受けているということですが、そもそもグループ分けが異常だし唐突なので当然だと思います。揉めているのは第4グループなのに、第3グループのガバナー補佐に経験豊富という始平堂氏を指名することも理解に苦しみます。窮地に陥っている旧第3分区と言っていますが、誰が混乱を招いているかわかっているのですか？私達新千葉ロータリークラブは、行動力、団結力の強いクラブです。ガバナーエレクトは、会員の質問、意見に対しても聞く耳を持たず、考え方を変えないようなので、ガバナーエレクトに対しての信頼感がなくなりました。私個人としては、来年度ガバナー公式訪問も含め地区行事には参加しません。

#### 四つのテスト

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

**\*ニコニコBOX\***

**累計 349,000円**

**9月2日**

**71,000円**

**飯高会長…納涼家族例会皆様ありがとうございました。**

**渡邊幹事…親睦委員会の皆様お疲れさまでした。**

**稲葉…トリプル成人式になりました。**

**石井…飯高会長1年間頑張ってください。**

**結婚記念日祝い…斎藤・吉村・初芝**

**誕生日祝い…三木・辻・森・斎藤・大原・稲葉・初芝**